

運動負荷心エコー検査の手引き

運動負荷心エコー検査は、我が国でも保険償還されているが、その普及はまだ不十分である。普及しない理由の一つとして、実施プロトコルが定まっていないこと、その実施手順が明確ではないことが挙げられる。さらに実施にあたっては、患者への説明・同意文書や報告書の形式を新たに作成しなくてはならないというハードルも存在する。

そこで、日本心エコー図学会のガイドライン委員会は、運動負荷心エコー検査を、より一層普及させることを目的として、その検査法の生理学的背景、実施方法とそのコツを手引きとしてまとめた。さらに全国の施設ですぐに使用できるような説明書や報告書のテンプレートも一緒に提供した。本文中の説明同意文書と報告書は、電子媒体で別に供給されているので、ダウンロードして各施設の事情に応じて改変して利用していただきたい。

平成 29 年 12 月 28 日

心エコー図ガイドライン作成委員会

委員長 赤石 誠

副委員長 泉 知里

委員 平野 豊、鈴木健吾、山田博胤、村田光繁、大門雅夫、

外部評価委員 瀬尾由広、竹内正明